

## 鳥獣保護区の鳥類相 V — 渡り鳥保全調査事業 2011 年度 —

福井県自然保護センター \*1

**要旨:** 2011 年度に、福井県内の 9 か所の鳥獣保護区において、鳥類相とその繁殖状況を調査した。ラインセンサス調査を 9 地点でのべ 34 日間実施した結果、12 目 33 科 83 種の鳥類の生息と、3 目 8 科 8 種の鳥類の繁殖を確認した。希少な種としては、オシドリ、サシバ、ハヤブサ、アオバズク、ヨタカ、アカシヨウビン、オオアカゲラ、サンショウクイ、チゴモズ、カヤクグリ、コサメビタキおよびサンコウチョウの生息が確認された。鳥獣保護区における定期的な鳥類相調査は、行政上の必要性だけでなく生物多様性の長期的・広域的モニタリングの視点からも有益であり、今後も継続して実施していく必要がある。

キーワード: 鳥類相, ラインセンサス調査, 鳥獣保護区

**Fukui Nature Conservation Center\*1. 2012. Avifauna of wildlife protection areas in Fukui prefecture V: Results of the fiscal year 2011 bird census. Ciconia (Bulletin of Fukui Nature Conservation Center) 17:1-9.** We conducted a survey to study the avifauna and their breeding status at 10 wildlife protection areas (WPAs) in Fukui prefecture during the fiscal year 2010. In all, 83 bird species (belonging to 33 families and 12 orders) were recorded at 10 sites over a period of 34 days by a line-census survey. The breeding behaviors of 8 species (belonging to 8 families and 3 orders) were observed. We then observed the inhabitation of rare species, including *Aix galericulata*, *Butastur indicus*, *Falco peregrinus*, *Ninox scutulata*, *Caprimulgus indicus*, *Halcyon coromanda*, *Dendrocopos leucotos*, *Pericrocotus divaricatus*, *Lanius tigrinus*, *Prunella rubida*, *Muscicapa dauurica*, and *Terpsiphone atrocaudata*. Periodic avifauna surveys in the WPAs must be continued to provide administrative benefits and help in the long-term monitoring of biodiversity on a regional scale.

Key words: avifauna, line-census survey, wildlife protection area

### はじめに

鳥獣保護区は、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」(環境省 2002)にもとづいて、鳥獣の保護を図ることを目的として指定されるが、その指定、管理等を適切におこなうために、鳥獣保護区やその新規指定の候補地となる地域において、鳥獣の生息状況等を調査することが、環境省告示による「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」(環境省 2007)において定められている。

福井県では、ガンカモ科鳥類生息調査(1969年～)や渡り鳥保全調査(1977年～)によって、県内における鳥類の生息状況を調査してきた。しかしこのうち、既設鳥獣保護区等を対象とした集中的な調査(福井県自然保護センター 1995a, 1995b, 1996, 1999, 2001, 2002)は 2000 年以降、6 年間おこなわれていなかった。そこで 2007 年度から 5 年間、県内の全鳥獣保護

区を対象として、集中的な鳥類相調査をおこなうこととした。

本稿ではこの一連の調査(福井県自然保護センター 2009, 2010a, 2010b, 2011)のうち、2011 年度に 9 か所の鳥獣保護区において実施した調査の結果について報告する。

### 調査地と調査方法

調査は 2011 年 5 月 13 日から 2011 年 12 月 15 日までの期間に、9 か所の鳥獣保護区で実施した(図 1; 表 1)。

調査は、鳥類の繁殖や渡り性鳥類(夏鳥, 冬鳥)の生息を把握するため、春, 夏, 秋, 冬の 4 回、実施した。調査時期は、春が 5 月, 夏が 6 月から 7 月, 秋が 10 月, 冬が 11 月下旬から 12 月である。ただし高標高域に位置する三ノ峰鳥獣保護区では、到達可能な夏, 秋の 2 回のみ調査を実施した。のべ調査日数は 34 日

福井県自然保護センター研究業績 第 91 号

\* 執筆者: 水谷瑞希 Written by Mizuki MIZUTANI. E-mail: mmizuki@fncc.jp.

1 〒912-0131 福井県大野市南六呂師 169-11-2  
Minamirokuroshi 169-11-2, Ono, Fukui 912-0131, Japan.

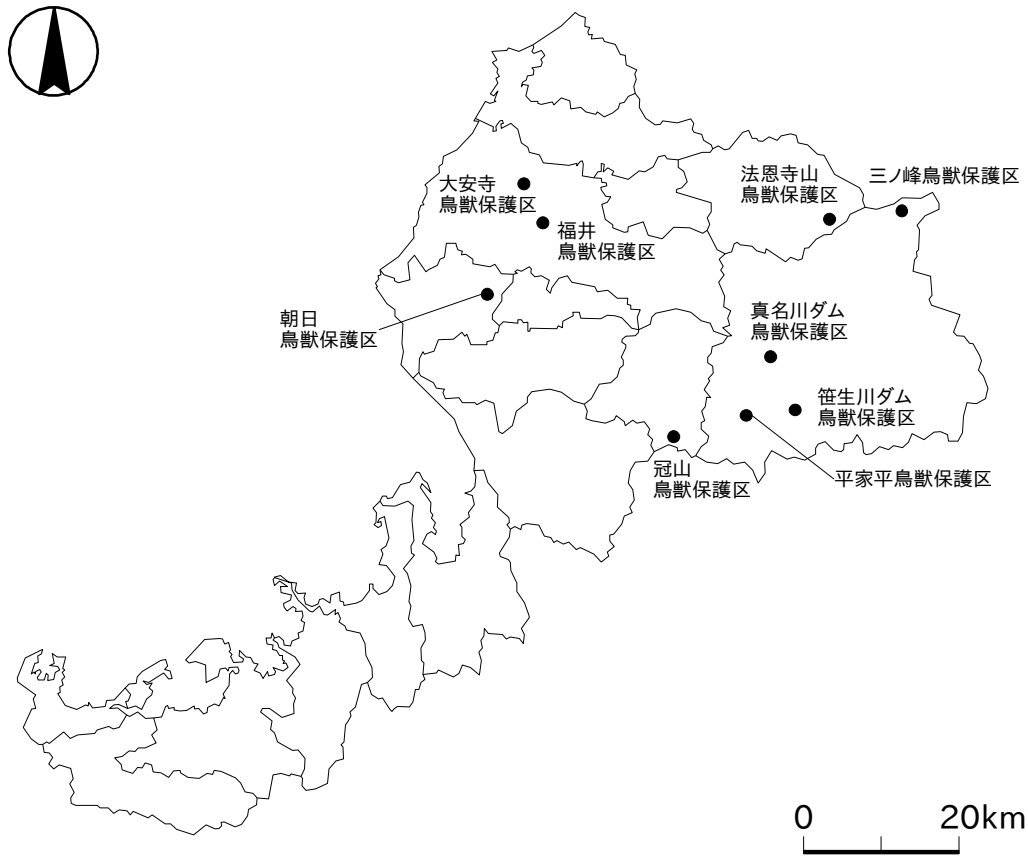


図1 調査地の位置.

間であった。

調査はラインセンサス法により実施した。各鳥獣保護区に1か所の調査ルートを設定した。調査ルートの距離は、計1.1 kmから2.8 kmであった。

調査は、野鳥の同定、観察に習熟した日本野鳥の会会員が分担しておこなった。設定した調査ルートを、鳥類が出現しやすい朝方に歩いて、調査ルートから左右25m、合計50mの範囲内で確認できた鳥類について、種ごとに個体数を記録した。また、25mより外側あるいは調査終了後に確認した鳥類については種名のみを記録した。確認個体数密度の算出には調査範囲内の観察記録だけを用い、確認種数の算出には調査範囲外も含めた観察記録を用いた。また営巣、育雛および巣立ち雛を確認した場合には、その種が繁殖していると判断した。

なお種の分類は「日本鳥類目録改訂第6版」(日本鳥類目録編集委員会2000)に従った。

## 結果と考察

本調査により、12目33科83種の鳥類が記録された(表2)。福井県産の鳥類は、1982年から1997年までに計292種が記録されているが(福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会1998)、本調査ではその28.4%が記録されたことになる。

本調査で確認された鳥類のうち、国第4次レッドリスト(環境省2012)もしくは福井県(福井県福祉環境部自然保護課2002)のレッドリスト・レッドデータブック掲載種は以下の通りである：

オンドリ *Aix galericulata* (情報不足 (DD)；県域準絶滅危惧)、サシバ *Butastur indicus* (絶滅危惧Ⅱ類 (VU)；県域準絶滅危惧)、ハヤブサ *Falco peregrinus* (絶滅危惧Ⅱ類 (VU)；県域絶滅危惧Ⅱ類)、アオバズク *Ninox scutulata* (—；県域絶滅危惧Ⅱ類)、ヨタカ *Caprimulgus indicus* (準絶滅危惧 (NT)；県域絶滅危

表 1 調査の概要.

調査地点	標準地域 メッシュ <sup>†</sup>	標高 <sup>†</sup> (m)	調査 時期	調査 年月日	調査者	踏査距離 (km)	調査面積 (ha)	確認種数 <sup>‡</sup> (種)	確認個体数 <sup>§</sup> (個体)
法恩寺山鳥獣保護区	54360457	677	春	2011/5/21	三原 学	1.7	8.7	22	35
			夏	2011/7/14	三原 学	1.7	8.7	21	45
			秋	2011/10/9	三原 学	1.7	8.7	16	31
			冬	2011/12/2	三原 学	1.7	8.7	15	64
大安寺鳥獣保護区	54361113	183	春	2011/5/24	柳町 邦光	2.2	11.2	17	88
			夏	2011/6/22	柳町 邦光	2.2	11.2	22	78
			秋	2011/10/6	柳町 邦光	2.2	11.2	10	67
			冬	2011/12/12	柳町 邦光	2.2	11.2	15	89
真名川ダム鳥獣保護区	53366482	392	春	2011/5/13	三原 学	2.7	13.3	21	38
			夏	2011/7/16	三原 学	2.7	13.3	18	25
			秋	2011/10/10	三原 学	2.7	13.3	19	46
			冬	2011/12/15	三原 学	2.7	13.3	22	77
笹生川ダム鳥獣保護区	53366405	540	春	2011/5/20	三原 学	2.8	13.9	25	34
			夏	2011/7/10	三原 学	2.8	13.9	22	64
			秋	2011/10/8	三原 学	2.8	13.9	15	84
			冬	2011/11/22	三原 学	2.8	13.9	16	145
朝日鳥獣保護区	53367059	53	春	2011/6/2	酒井 敬治	2.6	12.8	25	82
			夏	2011/7/1	酒井 敬治	2.6	12.8	19	82
			秋	2011/10/7	酒井 敬治	2.6	12.8	15	69
			冬	2011/12/7	酒井 敬治	2.6	12.8	13	61
三ノ峰鳥獣保護区	54360573	1554	春	—	—	—	—	—	—
			夏	2011/7/15	三原 学	1.1	5.5	14	27
			秋	2011/10/18	三原 学	1.1	5.5	12	96
			冬	—	—	—	—	—	—
平家平鳥獣保護区	53365398	901	春	2011/5/31	三原 学	1.9	9.7	20	34
			夏	2011/7/16	三原 学	1.9	9.7	15	26
			秋	2011/10/10	三原 学	1.9	9.7	17	44
			冬	2011/11/22	三原 学	1.9	9.7	17	67
福井鳥獣保護区	54360166	82	春	2011/6/4	柳町 邦光	1.8	9.2	12	125
			夏	2011/6/26	柳町 邦光	1.8	9.2	14	84
			秋	2011/10/8	柳町 邦光	1.8	9.2	12	72
			冬	2011/12/14	柳町 邦光	1.8	9.2	11	90
冠山鳥獣保護区	53365342	966	春	2011/6/10	酒井 敬治	2.5	12.3	28	65
			夏	2011/6/30	酒井 敬治	2.5	12.3	29	68
			秋	2011/10/2	酒井 敬治	2.5	12.3	15	86
			冬	2011/11/8	酒井 敬治	2.5	12.3	17	428

† 調査ルートの中間地点の値.

‡ 調査範囲外で確認された種も含めた種数.

§ 調査範囲内で確認された個体のみの値.

表 2 出現種とその確認個体数密度 (ha<sup>-1</sup>).

目	科	種	調査地点と調査時期															
			法恩寺山			大安寺			真名川ダム			養生川ダム			朝日			
			春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
バリーカン	ウ	カワウ																
コウノトリ	サギ	アオサギ																
カモ	カモ	オシドリ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ									○				○			
タカ	タカ	Milvus migrans Butastur indicus	0.12	0.23			0.18				0.08				0.15	0.07	0.07	0.07
キジ	ハヤブサ	Falco peregrinus					0.09											
ハト	キジ	ヤマドリ アオバト	0.12	0.12			0.18	0.09	0.09		0.08	0.08	0.08	0.08	0.38	0.08	0.16	0.24
カッコウ	カッコウ	Cuculus fugax Cuculus canorus Cuculus saturatus Cuculus poliocephalus														0.07		
フクロウ	フクロウ	Ninox scutulata																
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ																
ブッポウソウ	カワセミ	Halcyon coromanda Alcedo atthis					0.09											
キツツキ	キツツキ	Picus avokera Dendrocopos major Dendrocopos leucotos Dendrocopos kizuki	0.12	0.23							0.08					0.07	0.08	0.08
スズメ	ツバメ	Hirundo rustica Delichon urbica					0.27											
	セキレイ	Motacilla cinerea Motacilla alba Motacilla grandis Anthus hodgsoni Anthus spinoletta	0.35	0.12							0.08	0.15	0.08		0.07	0.14		
	サンショウクイ	Pericrocotus divaricatus	0.46	0.69	0.58		1.96	2.14	3.66	1.96	0.23	0.08			0.07	0.22	0.58	2.02
	ヒヨドリ	Hypsipetes amaurotis									0.38	0.53	0.45	0.75	0.94	2.43	1.18	1.73
	モズ	Lanius tigrinus Lanius bucephalus																
	カワガラス	Cinclus pallasi																
	ミンサザイ	Troglodytes troglodytes	0.12	0.12	0.12	0.12												
	イワヒバリ	Prunella rubida																
	ツグミ	Erethacus akahige Luscinia cyane Tarsiger cyanurus Phoenicurus auroreus Saxicola torquata Zoothera dauma					0.36								0.08		0.08	0.07







惧Ⅱ類), アカショウビン *Halcyon coromanda* (一; 県域準絶滅危惧), オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos* (一; 県域準絶滅危惧), サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* (絶滅危惧Ⅱ類 (VU); 県域絶滅危惧Ⅱ類), チゴモズ *Lanius tigrinus* (絶滅危惧ⅠA類 (CR); 県域絶滅危惧Ⅱ類), カヤクグリ *Prunella rubida* (一; 要注目), コサメビタキ *Muscicapa dauurica* (一; 県域準絶滅危惧), サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata* (一; 県域準絶滅危惧).

繁殖は, 3目8科8種の鳥類で確認された(表2). しかし春もしくは夏の調査で確認された種は, その確認がなくても繁殖している可能性がある.

調査範囲外を含め, すべての鳥獣保護区で確認された種は, 以下の通りである: コゲラ *Dendrocopos kizuki*, ウグイス *Cettia diphone*, ヤマガラ *Parus varius*, シジウカラ *Parus major* (表1). これらはいずれも, 本県ではほぼ周年観察される種であった(福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会 1998).

鳥獣保護区ごとの出現種数は20種から44種であった. 最も出現種数が多かった調査地は冠山鳥獣保護区で, 44種が確認された. 最も出現種数が少なかった調査地は年2回のみ調査を実施した三ノ峰鳥獣保護区で, 20種が確認された. 年4回調査した調査地の中で最も出現種数が少なかった調査地は福井鳥獣保護区で, 出現種数は21種であった.

本調査の調査日数は年4回のみであり, 地域の鳥類相を十分に把握できる調査頻度ではない(大迫ほか 1996). また種の識別や繁殖状況を明らかにするためには, 標識調査も含めた精密な調査が必要である(大迫 1989).

しかし本調査のように, 一時期に多地点で同じ方法で鳥類相を把握する調査は, 局所的のみならず広域的な鳥類相を把握できる利点がある. とくに鳥獣保護区のように, 過去の知見が蓄積されている地域で定期的に鳥類相調査をおこなうことは, 鳥類をはじめとする自然環境の長期的な変化をモニタリングする上で有益と考えられるため, 今後も継続的に調査を実施していく必要がある.

## 謝辞

現地調査は, 下記の方に実施していただいた(敬称略): 酒井 敬治, 三原 学, 柳町 邦光. ここに記して感

謝します.

## 引用文献

- 福井県福祉環境部自然保護課(編). 2002. 福井県の絶滅のおそれのある野生動物: 福井県レッドデータブック(動物編)2002. 福井県, 福井.
- 福井県自然保護センター. 1995a. 渡り鳥保全調査報告1992年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅰ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 4:1-8.
- 福井県自然保護センター. 1995b. 渡り鳥保全調査報告1993年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅱ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 4:9-16.
- 福井県自然保護センター. 1996. 渡り鳥保全調査報告1994年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅲ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 5:1-7.
- 福井県自然保護センター. 1999. 渡り鳥保全調査報告1997年度: 鳥獣保護区・休猟区の鳥類相Ⅳ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 8:1-8.
- 福井県自然保護センター. 2001. 渡り鳥保全調査報告1999年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅴ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 9:17-23.
- 福井県自然保護センター. 2002. 渡り鳥保全調査報告2000年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅵ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 10:1-8.
- 福井県自然保護センター. 2009. 渡り鳥保全調査報告2008年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅰ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 14:1-9.
- 福井県自然保護センター. 2010a. 渡り鳥保全調査報告2009年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅱ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 15:1-13.
- 福井県自然保護センター. 2010b. 渡り鳥保全調査報告2007年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅲ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 15:15-22.
- 福井県自然保護センター. 2011. 渡り鳥保全調査事業2010年度: 鳥獣保護区の鳥類相Ⅳ. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 16:1-9.
- 福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会(編). 1998. 福井の鳥とけものたち. 福井県県民生活部自然保護課, 福井.
- 環境省. 2002. 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律(平成14年法律第88号).



環境省. 2007. 鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針 (平成 19 年 1 月 29 日環境省告示第 3 号).

環境省自然環境局野生生物課. 2012. 第 4 次レッドリストの公表について (平成 24 年 8 月 28 日付け報道発表資料). 環境省自然環境局野生生物課, 東京.

日本鳥類目録編集委員会 (編). 2000. 日本鳥類目録

改訂第 6 版. 日本鳥学会, 帯広.

大迫義人. 1989. 鳥類相調査における捕獲, ラインセンスと定点観察の特性. *Strix* 8:179-186.

大迫義人・納村力・多田雅充. 1996. 福井県の丘陵地における鳥類相の効率的な調査日数と調査時期. *Ciconia* (福井県自然保護センター研究報告) 5:39-45.